

# 資 料

## 資料1 平成22年 海難種類別原因分類

(単位：原因数)

原因	海難種類	衝突	衝突(単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	火災	機関損傷	死傷等	施設損傷	運航阻害	浸水	合計
船舶運航管理の不適切				1		1				1				3
船体・機関・設備の構造・資材・修理不良										1			1	2
発航準備不良										1				1
水路調査不十分			1	8							4			13
針路の選定・保持不良			2	9	1	1					1			14
操船不適切				4		2	2			2				10
船位不確認	1		7	26										34
見張り不十分	176		10	1						2	2			191
居眠り	14		11	34										59
操舵装置・航海計器の整備・取扱不良														
気象・海象に対する配慮不十分				1		2								3
錨泊・係留の不適切			1	2						1			2	6
荒天措置不適切			1			6	1			2				10
灯火・形象物不表示	8													8
信号不履行	38													38
速力の選定不適切	7													7
航法不遵守	56													56
主機の整備・点検・取扱不良			1						15	1		1	1	19
補機等の整備・点検・取扱不良							2	1	3				4	10
潤滑油等の管理・点検・取扱不良									3			1		4
電気設備の整備・点検・取扱不良													1	1
甲板・荷役等作業の不適切					1	1				7				9
漁労作業の不適切										2				2
旅客・貨物等積載不良										4				4
服務に関する指揮・監督の不適切	5		5	1						3	1			15
報告・引継の不適切				1										1
火気取扱不良														
不可抗力														
その他	1													1
合計	306	39	88	2	13	5	1	21	27	8	2	9	521	
裁決件数	132	35	85	2	11	5	1	21	22	7	2	7	330	
裁決の対象となった船舶隻数	276	35	88	2	12	5	1	21	24	10	2	7	483	
海難の原因ありとされた船舶隻数	246	35	84	2	11	5	1	20	21	7	2	7	441	

※裁決では、1隻の船舶について複数の原因を示すことがあります。

## 資料2 平成22年 船種別原因分類

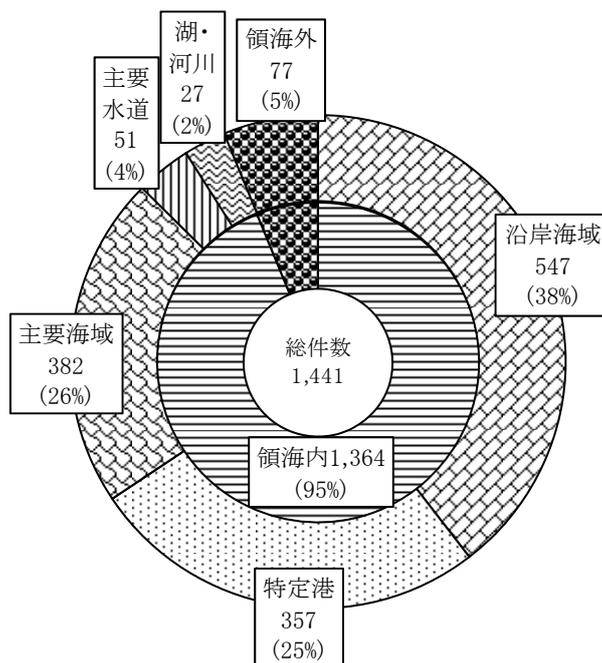
(単位：原因数)

原因	船種														合	
	客船	貨物船	油送船	漁船	引船	押船	作業船	遊漁船	はしけ(バージ)	プレジャーボート	交通船	台船	公用船	瀬渡船		その他
船舶運航管理の不適切				2						1						3
船体・機関・設備の構造・資材・修理不良				1		1										2
発航準備不良				1												1
水路調査不十分		3		1	1	3		1		4						13
針路の選定・保持不良	1		2	4						4			3			14
操船不適切	1	2		2	2		1			2						10
船位不確認	3	5	1	12		1		3		7			1		1	34
見張り不十分		21	2	104	2	2		10		40	4		1	5		191
居眠り		9	1	43	2					3	1					59
操舵装置・航海計器の整備・取扱不良																
気象・海象に対する配慮不十分								1		2						3
錨泊・保留の不適切	1		1	1		1				1					1	6
荒天措置不適切	1	1		4						4						10
灯火・形象物不表示				8												8
信号不履行		13	2	14	1	2		1		4					1	38
速力の選定不適切		1		4				1			1					7
航法不遵守		18	2	26	1	2				7						56
主機の整備・点検・取扱不良	3	3	1	9	2					1						19
補機等の整備・点検・取扱不良	2			7						1						10
潤滑油等の管理・点検・取扱不良				2	1			1								4
電気設備の整備・点検・取扱不良				1												1
甲板・荷役等作業の不適切	2	3	1	1	1		1									9
漁労作業の不適切				2												2
旅客・貨物等積載不良	1							1		2						4
サービスに関する指揮・監督の不適切	1	6	2	6												15
報告・引継の不適切				1												1
火気取扱不良																
不可抗力																
その他										1						1
合 計	16	85	15	256	13	12	2	19		84	6		5	5	3	521
裁決の対象となった船舶隻数	15	65	10	232	13	9	3	17	5	84	5	9	5	5	6	483
海難の原因ありとされた船舶隻数	14	64	10	216	11	9	2	17	0	80	5	0	5	5	3	441

※裁決では、1隻の船舶について複数の原因を示すことがあります。

※プレジャーボートには、モーターボート、水上オートバイ、ヨットを含みます。

資料3 平成22年 発生水域別件数（理事官が立件したもの）



資料4 平成22年 特定港、湖・河川における海難種類別発生件数（理事官が立件したもの）

(単位:件)

海難種類	発生件数													合計
	衝突	衝突(単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関損傷	死傷等	施設等損傷	安全・運航阻害	
特定港														
釧路		1												1
花咲											1			1
苫小牧	1													1
室蘭	1											1		2
函館			1		1			1						3
留萌		1												1
稚内					2									2
青森		2								1				3
八戸		2	1								1			4
釜石		1								1				2
仙台塩釜		1	1			2				1				5
秋田船川		1			1						1			3
鹿島	1	4								1				6
木更津										1				1
千葉	1	2	2								1			6
京浜(東京区)	2	1								1		1		5
京浜(川崎区)		2	1		1		1				1			6
京浜(横浜区)	3	3						1						7
横須賀			2											2
新潟潟	1		1							1		1	1	5
伏木富山	1		1					1			1			4
七尾			1											1
敦賀		1						1						2
清水	2													2
名古屋	2	6	1		1									10
舞鶴			1							1				2

(単位:件)

海難種類 特定港	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷等	施設等 損傷	安全・ 運航 阻害	合計
阪神(大阪区)	2	7	2							5				16
阪神(神戸区)	3	7	2			1				3		3		19
阪神(尼崎西宮芦屋区)		3	2					1						6
阪神(堺泉北区)	1	11	1							5				18
東播磨		2	1							1				4
姫路	4	4	4							1				13
和歌山下津		2								1		1		4
境			1									1		2
浜田		3			1						1			5
宇野	1	1												2
水島	6	4	5			1				1		2		19
福山		5	2					1		2	2			12
尾道糸崎	4	3	5											12
呉	1	10				1				1				13
広島	1	6	3			3				2				15
岩国	1													1
徳山下松	2	9	1			3	1			3				19
宇部	2													2
関門(若松区)	1	2	3											6
関門(若松区外)	2	1	1							2	1	1		8
徳島小松島		2	2							1				5
坂出		2				1								3
高松		3	3			2				1				9
松山	1	6	1									1		9
今治		3	1			1				1	1			7
新居浜		4	1			2								7
博多	1	1	1											3
三池			1											1
唐津												1		1
厳原		1												1
三角			1										1	2
鹿児島	3		1								1			5
名瀬		1												1
金武中城		1	2							1				4
那覇		4	1			1				1				7
金沢		1					1			1				3
福井			1							2				3
柳井		1												1
三島川之江		1												1
三河		1												1
合計	51	140	62	0	7	18	3	6	0	43	12	13	2	357
湖・河川	5	1	2	3	2					2	11	1		27

注：事件が発生していない特定港は、掲載していない。

＊海難発生件数の統計

理事官が海難を認知するには、海上保安官からの「海難発生通知書」または船長からの船員法第19条による「海難報告書」などがあります。流木等の漂流物接触や軽度の船底接触などの比較的軽微な海難については、除いて処理しています。

資料5 平成22年 主要水道における海難種類別発生件数（理事官が立件したもの）

(単位:件)

海難種類	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷 等	施設 等損傷	安全・ 運航 阻害	合計
主要水道														
浦賀水道			1							1	1			3
伊良湖水道	2	1												3
布施田水道												1		1
明石海峡	3	2	1							1				7
友ヶ島水道	4		1											5
鳴門海峡	3	1	1								1	1		7
来島海峡	3		3		1							1		8
三原瀬戸						1								1
釣島水道			2											2
音戸瀬戸								1						1
大島瀬戸	2		1											3
上関瀬戸		2	1											3
平戸瀬戸		3	4											7
合計	17	9	15	0	1	1	0	1	0	2	2	3	0	51

資料6 平成22年 主要海域における海難種類別発生件数（理事官が立件したもの）

(単位:件)

海難種類	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷 等	施設 等損傷	安全・ 運航 阻害	合計
主要海域														
津軽海峡					1		1					2		4
陸奥湾	2		2				1	1			1			7
東京湾	3					1		1		1		1		7
伊勢湾	2	1												3
三河湾		1	1											2
紀伊水道	3	2	2			1				2		1		11
大阪湾	4	4								1		1		10
播磨灘	13	4	14			2				7		6		46
備讃海域東部	4	5	14			3	1			5	2	2		36
備讃海域西部	19	8	7			7	1			6	2	1		51
備後・燧灘	3	5	3			1				3	1	3		19
安芸灘・広島湾	27	21	29	2		12	2	1		6	4			104
伊予灘	13	2	3			1				3		1		23
周防灘	7	2	3		1						1	2		16
豊後水道	8	2	6			2	1			2	1			22
島原湾・八代海	7	3	6			1			1		3			21
合計	115	60	90	2	2	31	7	3	1	36	15	20	0	382

## 資料7 平成22年 沿岸海域及び領海外における海難種類別発生件数（理事官が立件したもの）

(単位:件)

海難種類	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷 等	施設 等損傷	安全・ 運航 阻害	合計
沿岸海域														
雄冬岬～紋別	2		1							1				4
紋別～十勝川口	6				1	1		1		2	2	2		15
十勝川口～白神岬	4		1		2	1				1	1			10
白神岬～雄冬岬	4	1	1	1	1		1	1		1	3			14
尻屋崎～鮎ヶ崎	4	1	4		1	1		1		2	5	2		21
鮎ヶ崎～阿武隈川口		1	3		2	4	2	2		5	4			23
阿武隈川口～犬吠崎	6		3		1		1	2		3	1			17
犬吠崎～野島崎	2	1	2			1		1		2	1	2		12
野島崎～天竜川口	12	5	25	1	3		7			9	5	5		72
天竜川口～新宮川口	17	4	11		2		1	2		2	4			43
新宮川口～日ノ御崎	4	1	7		1	1				5	1			20
蒲生田岬～高茂崎	1	1	3							1	3			9
竜飛岬～鼠ヶ関	1		1		1	3				2	1			9
鼠ヶ関～糸魚川	5		1		1	2				1	2		1	13
糸魚川～経ヶ岬	15	2	3		2	1	1	2		8	2			36
経ヶ岬～川尻岬	14	3	6		3	4	1	2		6	1		1	41
隠岐諸島		1	2			1				2	1			7
川尻岬～烏帽子島	9	1	4				1			2	1	1		19
対馬列島		1	3							2				6
烏帽子島～坊ノ岬	12	1	30		1	1		4	1	10	4		1	65
坊ノ岬～鶴御崎	7	1	5		3			1		3		2		22
南西諸島	7	14	25	1	1	6		1		6	4		2	67
南方列島			1							1				2
合計	132	39	142	3	26	27	15	20	1	77	46	14	5	547
領海外	26	1	2			2		1		37	7	1		77

資料 8 平成 22 年 船種・海難種類別発生隻数（理事官が立件したもの）

(単位:隻)

海難種類 船種	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷 等	施設 等損 傷	安全・ 運航 阻害	合計	構成比 (%)
旅客船	10	40	16			14	1	3	1	15	7	3	3	113	6
貨物船	147	101	97			14	2			55	12	21		449	24
油送船	39	16	13			8	2	2		12	2	1		95	5
漁船	259	30	64	2	21	13	8	24		89	34	6	1	551	30
引船	34	15	26		3	14	1			10	3	5		111	6
押船	11	8	15	1	1	5		1	1	2		3		48	2
作業船	4	4	5		3	2		1			1	3		23	1
はしけ	6	7	8			3								24	1
台船	15	0	3		2	2						1		23	1
交通船	2	2	2	1							1			8	1
水先船	0	3												3	1
公用船	7	2	8	1		2				1				21	1
遊漁船	35	5	8			1	1	2		1	5			58	3
瀬渡船	1		2		1					2	1			7	1
ブ レ ジ ヤ ー ボ ー ト	モーターボート	82	17	37	4	8	6	7	2	8	7	10	3	191	10
	水上オートバイ	31	7	1		1				2	21			63	3
	ヨット	1		12				1		1		3		18	1
	ボート	8	2			1		1	1					13	1
	小計	122	26	50	4	10	6	9	3	0	11	28	3	285	15
その他	5	4	9		1	2					2	3		26	1
不詳	13	3	4				1							21	1
合計	710	266	330	9	42	86	25	36	2	198	96	59	7	1866	100

資料9 平成22年 海難種類・トン数別発生隻数（理事官が立件したもの）

(単位:隻)

海難種類	トン数区分	20 トン未満	20 トン以上 100 トン未満	100 トン以上 200 トン未満	200 トン以上 500 トン未満	500 トン以上 1,600 トン未満	1,600 トン以上 3,000 トン未満	3,000 トン以上 5,000 トン未満	5,000 トン以上 10,000 トン未満	10,000 トン以上 30,000 トン未満	30,000 トン以上	不詳	合計
衝突		302	32	57	72	31	12	12	20	13	9	149	709
衝突(単)		53	15	45	56	37	6	3	6	7	3	34	265
乗揚		112	25	38	77	17	1	4	1		1	56	332
沈没		5										3	8
転覆		28			1							14	43
遭難		26	10	14	15	6	2	1				12	86
浸水		14	2	2	1							6	25
火災		25		2	3	1						5	36
爆発		1	1										2
機関損傷		55	10	36	54	15	4	1	2	2		19	198
死傷等		46	6	6	9	3	2		1	1		22	96
施設等損傷		18	2	7	13	3	4		1	1	1	9	59
安全・運航阻害		3			1				1			2	7
合計		688	103	207	302	113	31	21	32	24	14	331	1866
構成比(%)		37	5	11	16	6	2	1	2	1	1	18	100

資料 10 平成 22 年 船種・トン数別発生隻数（理事官が立件したもの）

(単位:隻)

船種	トン数区分		20	100	200	500	1,600	3,000	5,000	10,000	30,000 トン以上	不詳	合計	構成比 (%)
	20 トン未満	20 トン以上 100 トン未満	100 トン以上 200 トン未満	200 トン以上 500 トン未満	500 トン以上 1,600 トン未満	1,600 トン以上 3,000 トン未満	3,000 トン以上 5,000 トン未満	5,000 トン以上 10,000 トン未満	10,000 トン以上 30,000 トン未満					
旅客船	38	8	17	15	14	5	2	8	5		1	113	6	
貨物船		4	84	204	65	14	11	23	19	12	13	449	24	
油送船	1	10	16	19	29	7	6			1	6	95	5	
漁 船	391	47	35	42	1						35	551	29	
引 船	49	15	30	12							5	111	6	
押 船	15	7	19	3	1						3	48	3	
作業船	14			1			1				7	23	1	
はしけ											24	24	1	
台 船				2			1				20	23	1	
交通船	3		1	1							3	8	1	
水先船	3											3	1	
公用船	3	7	3	3	2	2		1				21	1	
遊漁船	44										14	58	3	
瀬渡船	6										1	7	1	
プ レ ジ ヤ ー ボ ー ト	モーターボート	72	1									118	191	10
	水上オートバイ	25										38	63	3
	ヨット	8										10	18	1
	ボート	4	1									8	13	1
	小計	109	2									174	285	15
その他	7	3	2		1	3					10	26	1	
不 詳	6									1	14	21	1	
合 計	689	103	207	302	113	31	21	32	24	14	330	1866	100	

資料 11 平成 22 年 海難種類別・死傷者等の状況（理事官が立件したもの）

(単位:人)

海難種類	船 員			旅 客			そ の 他			小 計			合計	構成比 (%)
	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷		
衝 突	4	3	60			31	2		20	6	3	111	120	40
衝突(単)			18			8			26	0	0	52	52	17
乗 揚	1		7			1			1	1	0	9	10	3
沈 没										0	0	0	0	0
転 覆		1	1	1						1	1	1	3	1
遭 難			1							0	0	1	1	1
浸 水										0	0	0	0	0
火 災			1							0	0	1	1	1
爆 発			1							0	0	1	1	1
機関損傷										0	0	0	0	0
死傷等	12	9	33	5		14	4		31	21	9	78	108	35
施設等損傷									1	0	0	1	1	1
安全・運航阻害										0	0	0	0	0
小 計	17	13	122	6	0	54	6	0	79	29	13	255	297	100
合 計	152			60			85			297				
構成比(%)	51			20			29			100				

資料 12 平成 22 年 船種別・死傷者等の状況（理事官が立件したもの）

(単位:人)

区分 船種	船 員			旅 客			そ の 他			小 計			合計	構成比 (%)
	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷	死亡	行方 不明	負傷		
旅客船	1	1	7			10			3	1	1	20	22	7
貨物船	4	2	8			2				4	2	10	16	5
油送船	0	0	2							0	0	2	2	1
漁 船	11	7	55			7	1		4	12	7	66	85	28
引 船		1	2							0	1	2	3	1
押 船			1							0	0	1	1	1
作業船			1				1			1	0	1	2	1
はしけ										0	0	0	0	0
台 船										0	0	0	0	0
交通船			1	1		1				1	0	2	3	1
水先船										0	0	0	0	0
公用船			1							0	0	1	1	1
遊漁船			2	2		17			2	2	0	21	23	7
瀬渡船				1						1	0	0	1	1
プレ ジ ヤ ー ボ ー ト	モーターボート		22			5	2		35	2	0	62	64	21
	水上オートバイ		2	15	2	11	2		34	4	2	60	66	22
	ヨット			1					1	0	0	2	2	1
	ボート			4						0	0	4	4	1
	小計	0	2	42	2	0	16	4	0	70	6	2	128	136
その他	1					1				1	0	1	2	1
不 詳										0	0	0	0	0
小 計	17	13	122	6	0	54	6	0	79	29	13	255	297	100
合 計	152			60			85			297				

資料 13 平成 22 年 船種・海難種類別申立て隻数

(単位:隻)

海難種類 船種	衝突	衝突 (単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	浸水	火災	爆発	機関 損傷	死傷 等	施設 等損 傷	安全・ 運航 阻害	合計
旅客船	3	6	4			1				1	5			20
貨物船	48	10	15	1		1					1	3		79
油送船	11	2	1							1	1		1	17
漁 船	140	22	41	1	8	3	4	1		10	13			243
引 船	4		3		2	1					2			12
押 船	3		2									1		6
作業船	3				1									4
はしけ(バージ)	2		1											3
台 船	4		2								1			7
交通船	2		1											3
水先船														0
公用船	1		2								1	1		5
遊漁船	13	4	6										1	24
瀬渡船	2	1	1			1								5
プレジャーボート	54	10	14		3	1	1				6	1	1	91
その他			3		1							1		5
合 計	290	55	96	2	15	8	5	1	0	12	30	7	3	524

資料 14 平成 22 年 裁決における船種・海難種類別隻数

(単位:隻)

海難種類 船種	衝突	衝突(単)	乗揚	沈没	転覆	遭難	火災	機関損傷	死傷等	その他	合計	構成比 (%)
旅客船	1	1	6			1	1	2	3		15	3
貨物船	36	9	11	1		1		3	2	2	65	14
油送船	5	2	2						1		10	2
漁船	149	16	37	1	4	1		14	5	5	232	48
引船	4		2		2	1		2	1	1	13	3
押船	4		2							3	9	2
作業船	1				2						3	1
遊漁船	9	1	5						1	1	17	3
はしけ(バージ)	4									1	5	1
プレジャーボート	49	5	14		4	1			8	3	84	17
交通船	4		1								5	1
台船	4		3							2	9	2
公用船	1		3							1	5	1
瀬渡船	4	1									5	1
その他	1		2						3		6	1
合計	276	35	88	2	12	5	1	21	24	19	483	100

※海難種類におけるその他とは、施設損傷、運航阻害、浸水を含みます。

資料 15 平成 22 年 裁決におけるトン数・船種別隻数

(単位:隻)

船種 トン数区分	旅客船	貨物船	油送船	漁船	遊漁船	プレジャーボート	作業船等	交通船	公用船	瀬渡船	その他	合計
トン数表示なし	1					46	12				3	62
5トン未満				96	7	34	1	2		1	1	142
5トン以上20トン未満	4			105	10	4	11	3		1		138
20トン以上100トン未満	3			14			4		3			24
100トン以上200トン未満	3	15	2	13			6		1	1		41
200トン以上500トン未満	2	35	1	4					1	1	1	45
500トン以上1,600トン未満	1	4	6				3			1	1	16
1,600トン以上3,000トン未満		2	1				1					4
3,000トン以上5,000トン未満		1					1					2
5,000トン以上10,000トン未満	1	5										6
10,000トン以上30,000トン未満		2										2
30,000トン以上		1										1
合計	15	65	10	232	17	84	39	5	5	5	6	483

※作業船等とは、作業船、引船、押船、はしけ、台船を含みます。